

第2回 第6次豊橋市総合計画策定市民会議 議事要旨

日時 令和2年1月27日(月) 13:30～15:30
場所 豊橋市役所 災害対策本部室

1 「しごとづくり・人の流れづくり」に関する意見

主に資料3を踏まえ、各委員の所属団体での活動経験や日常生活で感じたことを基に、豊橋の「しごとづくり・人の流れづくり」に関して各委員より発言

○委員

- ・ 二川本陣のような観光施設や多米小学校の旧校舎のような地域に残る古い施設をうまく活用していくべきである。まちなか整備や防災も重要だと思うが、郊外にも活用できる施設が多く残っている。郊外にも目をとめてもらい、地域と一緒にできることを考え、名所をつくっていきたいと考えている。
- ・ 人材について、柳原住宅団地では主にブラジル系の方をはじめとした外国人住民が4割以上を占め、多米小学校にも4割の外国人の子どもがおり、仲良く共存しながら住んでいる。西部住宅団地などではさらに多様な国から来た方が住んでいると聞く。彼らとも一緒になって地域を作っていければと思う。

○委員

- ・ 人が集まるまちなかにすることは絶対必要だと思う。最も効果があるのは成長産業、情報産業の誘致や、有名な企業の誘致だと思うが、可能なら既に誘致できていると思う。難しいことだと思うが、わかりやすい目立つ会社を一つでも誘致するべきと考える。
- ・ 豊橋市は自然もあって素晴らしいと思うが、駅周辺に来てもらえるようにすべき。豊橋にわざわざ来てもらうには、まちなかの賑わいが必要。活性化していかなければならない。
- ・ 食事関係は、性別、年齢は関係なく人を呼べるもの。食のテーマパークのようなものができれば人が来ると思う。有名なお店を誘致して、目玉として人を集めるべき。まちなかには図書館などもあり、回遊できるようにしたい。そのためには駐車場の整備も必要だが、マイカー以外でのアクセス性の向上も考える必要がある。

○委員

- ・ 豊橋には外国人が多い。大学が3つもあるので、さらに外国人を受け入れるための学校整備や生活支援、環境整備を進めるべきではないか。また、働ける場所を整えることも重要だと思う。外国人への支援は、豊橋の発展に寄与することにつながると思う。

- ・ 資料 2 を見ると豊橋市の観光レクリエーション利用者は、豊橋総合動植物公園と豊橋まつりが全体の 60%以上を占めている。整備や維持にお金はかかっていると思うが、これだけ人を集めている、大規模な施設は他にないと思う。もっと集客できる施設にしていくべきと考える。
- ・ 生涯スポーツについて。小学校の部活がなくなると聞いているが、市民のスポーツとのかわりは増えていると聞く。少子高齢化が進む中で、誰でも気軽にスポーツを楽しめるよう、環境を整えていく必要があると考える。

○委員

- ・ 豊橋は住みやすい場所だと思う。ただ、住んでいない人から見ると、そうは見えないと聞く。若い人が住んで、家族を増やし、少子高齢化を防ぐようなまちにすることを、若い人に訴えたい。大学もあり、企業もあり、農業もあり、新しいお店が増えているなど、訴える部分はいろいろあると思う。
- ・ 資料 3 の中で A I の活用という表現があったが、機械化により雇用の機会が減ることとは回避したい。人を集めること、雇用環境を守ることを考えていきたいと思う。

○委員

- ・ 資料 2 について、事業所の動向について着目したい。事業所の減少は懸念すべきこと。出張の減少、雇用が減少しているということであり、産業集積力が乏しくなることが懸念される。稼ぐ力が小さくなることにつながり、投資が減る、消費が減る、経済が乏しくなるなど問題が生じる。
- ・ 総生産額について、生産性を上げる力、付加価値を高める力が乏しくなっており、一人あたりの稼ぐ力が落ちている。お金の尺度だけで見てもいけないが、豊かさにつながる事なので、しごとづくりの中で、稼ぐ力をプラスに転じさせることのような取り組みをしっかりとやらないといけないと思う。
- ・ 企業誘致について、今までは雇用の創出に焦点を当てていたが、波及効果があって、生産性向上につながる効果の高い企業誘致を行うべき。そうした企業を核として、地域の稼ぐ力を強くするような産業振興が重要だと思う。
- ・ 資料 3 の具体的な方策の 2 番目、生産性向上に資する人材確保について、生産性向上は人使わないことで向上するので少し表現が違に違和感がある。内容は生産性向上というよりは物流の安定確保は基盤強化かだと思うので、タイトル表現は見直すべきと考える。

- ・ 資料3の具体的な方策、人の流れの創出について、動員力の高い成長産業のイメージは、観光産業やスポーツ産業を示していると思うが、地域外から投資、消費を呼び込めるかが重要。地域が楽しめるというのもよいが、それだけでは先細りする。他地域に向けてアピールできることを進めようとする、それなりに大変だが、取り組まなければいけない。

○委員

- ・ 医療、介護でのまちづくりを進められればと思う。他地域の例では病院内での行うリハビリを外に出て、公園などでできる環境を整えている。雇用が生まれるうえ、障害者の活動が地域に溶け込むことになり、市民の障害に対する理解が進むことにもつながると考える。
- ・ 耕作放棄地が生まれるのはもったいないと思う。農協にも立ち上がってもらい、土地を集約し、商工会議所の支援を受けて、サラリーマン化した農業を構築すべき。関係者がいっしょに関わりながら、新しい取り組みを進められたらと思う。

○委員

- ・ 新聞で、豊橋市は住みやすさ総合5位という記事を見たが、あまり知られていないと思う。住みやすさを理解されていないもったいない。アピールが問題ではないか。パンフレットなどで情報発信し、駅やホテルなど目につくところで発信するなど、工夫することがあるのではないか。
- ・ 子どもの体力測定で順位が落ちていると聞いた。子供が外で遊ばなくなり、基礎体力や基礎的な体の使い方が悪くなっている。外遊びは、言葉の能力も高くなるという研究もあり、大切なことだと考える。自然の中で遊べる場所や時間、親が安心して子供を遊ばせられる環境を確保していく必要があると考える。
- ・ 食べることの観点も大切。健康の近道は、食べる、体を動かす、寝ること。不健康な大人が増えている、豊橋の子どもたちが健康でいられるような仕組みをつくっていくことが必要。豊橋は野菜の生産量が多いと聞くので、おいしい食べ物、料理方法を紹介して、健康で生活できる環境づくりを進められれば良いと思う。

○委員

- ・ スポーツや健康づくりなどの取り組みはあるが、音楽と文化による対応も必要。芸術を含めてセットで考える必要がある。
- ・ 演劇、芸術を通して生涯楽しめる環境づくりを進めたい。若い優秀な音楽家が豊橋にもいるが、東京に出てしまって、戻ってこない。豊橋には活躍できる場や仕事がなく、芸術家を束ねる企業、育てる団体もない。若い芸術家が活動を続けられるよう、支援する組みが必要と考える

- ・ 芸術活動の場として、豊橋には PLAT があるが、人気のある施設で個人では施設がなかなかとれない。その他施設では文化会館や公会堂になるが、古くバリアフリーではなく魅力が乏しい。スポーツなどいっしょに楽しめる、レストランがあるなど、文化芸術とその他の魅力がいっしょにある環境を整えば、外に出てしまっている人材も豊橋にもどってくるのではないかと思う。

○委員

- ・ 資料 3 について、行政職員が具体的に何がしたいのか、やりたいのかが見えないと感じた。前回の会議で豊橋は PR が下手だという意見があったが、様々な機会があると思う。例えば、ハザードマップなどは作って終わりではなく、山火事や津波など地域ごとの懸案にどの程度具体的な対策が議論されているのか、それぞれの地域と一緒に確認し、一緒に取り組むべきことを考え、集約して発信していったらどうか。
- ・ 旅行をしたときに、豊橋の名前が知られていないと感じる。ロケ地の誘致についても、一過性のものではなく名前が残る工夫も考えるべき。
- ・ 資料 3 について、若手職員が考えたのであれば、職員が地域と一緒にボトムアップで具体的な取り組みを実行し、発信していくべき。会議できれいにまとめるだけのものは必要ない。

○委員

- ・ 外国人の未就学が、日本語が理解できないため、就学前の検査で障害をもっているとされてしまうことがある。試験を通訳入りで検査する体制では、正しく評価できない。母国の文化をベースに判断される試験環境を整える必要があると考える。
- ・ 65 歳以上の外国人高齢者層では、アルツハイマーが問題になっている。日本語で話ができる人でも、アルツハイマーになると母国語しか話せなくなり、日本語がわからなくなると介護も難しくなる。
- ・ 体を動かすこと、スポーツなどでは、タトゥーに対する理解が大切だと考える。外国人はタトゥーに対する見方が日本人とは異なるが、互いに理解を深められればと思う。
- ・ 多文化共生を目的としたイベントを企画、実施した際に日本の参加者がなかなか増えない、イベントへの参加をきっかけに外国人と日本人が仲良くできるとよいと思う。

○委員

- ・ 農業、耕作放棄地の活用についての意見があったが、農業者でないと農業はできない。農業者になるには農地を5反以上もっていることが条件で、農地を借りることも農業者でないとできない。企業が農地を所有することは認められておらず、個人が土地をもって農業をしないといけない制度になっている。また、農地を集約して大きな畑にするには、土地改良という、住宅地でいえば区画整理のようなことが必要。親から受け継いだ農地を、農家が土地改良してくれるかというとなかなか理解が進まない。実際には、お金の持ち出しもあり、難しい。
- ・ 神野新田や多米などの3箇所で市が市民農園をやっている。昔は年寄ばかりだったが、最近は、子ども連れの若い人が野菜をつくり、シートを敷いてお弁当を食べている様子を見る。農業に親しむ機会として多くの人に活用してもらえたらと思う。
- ・ 二川本陣について、まちなみ保存を真剣に取り組んでほしいと思う。空き家対策や街並み整備が必要。また、昔のまちなみで道が狭いうえ、車のおりも多いので、アスファルトをはがして、観光客向けの街道の再整備をしたらよいと思う。
- ・ スマート IC が計画されていると聞く。インター周辺に何が整備されるのか。豊橋と浜松と信州をつなぐ三遠南信道路や豊橋浜松三ヶ日道路についても、豊橋がどう活用していくかを示していく必要があると考える。
- ・ 豊橋駅前の活性化について、まちなかマルシェなどのイベントは面白いが、1日駅前で過ごすには物足りない。他に行こうと思える面白い場所がなければなかなか駅前まで行こうと思わないのではないかと。歩いていて面白い豊橋になってほしいと思う。

○委員

- ・ 企業支援について発言したい。他市から企業が入ってくる時は優遇制度があると聞く。もっとわかりやすいPRをすべきと考える。
- ・ 農業振興について、B級品をうまく活用した6次産業化に取り組むべき。道の駅で販売する商品づくりを取り組んだらよいと思う。地元の商品を新しく作っていくことが大切だと思う。
- ・ 計画の中で考えた取り組みを実施していく人はだれか。具体の実行は、市民や企業になる。行政と市民や企業がいっしょに行動していかないと形だけの計画になると思う。

○委員

- ・ 定住人口を増やすのなら、仕事を増やす、企業誘致をする必要がある。企業誘致は実際には難しいと思う。既に行政が動いていると思うのでなかなか難しいことは理解できる。デジタル化により、東京に住まなくてもできる仕事もあるので、Iターン、Uターンを進めるため、そういった産業を誘致するべきだと考える。

- ・ 後継者がいない会社や農業、空き家などの問題について、全国に対して、行政主導で、やりたい人を集めてたらどうか。関心を持つ担い手はいるはずなので、デジタルをつかって集めるべきだと思う。
- ・ エールのロケ地になったことはチャンスだと思うが、一過性で終わらせないようにする取り組みが重要。そのためのキーワードは体験だと思う。体験できるツーリズムをつくるべき。その対応はDMOになると思うが、仕事に変えていく取り組みを進めてほしい。
- ・ 豊橋は魅力があるという意見があったので、交流人口を増やすことについて、インバウンドが重要。母国での情報発信を国際交流協会などといっしょに進めるべきだと思う。
- ・ 住みやすいまちについて、その定義は何か。病院、職、食べ物などいろいろな見方がある。やはり次の時代を担っていく世代に聞き、定義づけから進めないといけないと思う。芸術、歴史、スポーツなどがインクルードされて、すみやすい街になるはず。定義をブラッシュアップしていかないといけないと考える。

○委員

- ・ 委員の皆さんに、消防団は必要なのか聞いておきたい。消防団は、予算をもらって活動している団体であるが、一方で消防署もある。消防という仕事づくりを邪魔していないかと思う。
- ・ 新しいものを増やす前に、現状抱えている問題の解決から取り組むことが重要ではないか。市内の渋滞対策などを行い、住みやすい環境を整えれば、人の流れができ、仕事も増えていくのではないかと考える。

○委員

- ・ 公園で遊ぶことについて、小学生には校区外で遊んではいけないルールがあり、小学校の部活がなくなると、遊べる公園があるかどうか心配である。また、中学校になると校区が広がり、行動範囲が大きくなるので、地域内に簡単に、安心して遊びにいける場所をもっと増やす必要があると考える。
- ・ 子育てが終わった女性は、働こうと思った際に扶養の問題を抱えてしまう。保育園は無償化されても、学童に入れないなどの問題がある。学童に入れないと仕事に出られない。子供を持つ親が働ける環境づくりを進める必要があると考える。
- ・ 若い世代では市の広報見ていない人もいる。広報に掲載しているイベントなどをスマホなどで気軽にみられる環境を整えば、参加する人が増えるのではないかと考える。
- ・ 豊橋には自動車免許をもたないと就職できないという雰囲気があると思う。車がなくても身近で働ける場所があれば、女性は定着するかもしれない。そうした環境づくりが重要だと思う。

○委員

- ・ 知り合いが農業法人を立ちあげた際に、作った農産品を売る施設をつくり、雇用をつくる、ビジョンを描く手伝いをしたことがある。耕作放棄地を借りて農業を始めたが、作った作物を売る場所を考えた際に候補になった場所が調整区域で、建物を建てることができなかった。また、中小企業の経営者の方からも、工場の増築、移転ができないという話も聞く。市街化区域内の住宅用途となっている場所では、周辺が住宅地であり工場の増築ができない。遠くに移築すると、今働いているパートの方や、自転車で勤務する方は通えなくなってしまう。意欲のある民間の意見を吸い上げて、民間が動ける仕組みづくりを考えていく必要がある。

<欠席委員意見>

- ・ 各校区に年齢、性別、国籍等を問わず交流できる場所があるとよい。特別に用事がなくとも顔を出したくなるような空間があり、互いに気軽に話ができるような関係性を築くことができるとよいと思う。
- ・ 人材流出を防ぐためには、働く人が魅力を感じる産業、企業の誘致が必要だと思う。若者が大学卒業後にUターンしたいと感じ、地元の3大学の学生が豊橋で就職したいと思えるようなまちづくりが必要だと考える。
- ・ 新幹線が停まるので、豊橋祭りなどの魅力的なイベントがあることや、伊良湖岬、鳳来寺山などの観光地の最寄りの新幹線駅が豊橋駅であることを多くの人に知ってもらい、大都市からの集客を図る必要があると考える。
- ・ 豊橋港に豪華客船が停泊できるように環境を整備し、豊橋を起点に東三河の観光地を巡るツアーができるとよいと思う。
- ・ スマートICの設置を見据え、周辺の道路整備をすれば人や物の流れが良くなると思う。また、市内の公共交通の利便性向上も必要だと考える。